

## 被災地（支部・TG会）への支援内容（案）

東北学院同窓会は母校を応援する最大の組織として活動していますが、同窓会活動は地域社会との連携が不可欠であることから、この度の東日本大震災で被災された地域（支部又はTG会が組織されている市と町の教育委員会）に対し支援を行いたいと考えています。東北学院は幼稚園、中学校、高等学校、大学、大学院を設置する教育機関でありますので教育に関わる支援を中心に考えていますが、併せて東北学院同窓会の多彩なTG会の組織力を活かして下記のように支援して参りたいと思います。

## 記

## 1. 対象地域

福島県：いわき市（いわき支部）、南相馬市（南相馬支部）、相馬市（相馬支部）

宮城県：亘理町（亘理支部）、岩沼市（岩沼支部）、名取市（名取支部）、仙台市（若林支部・宮城野支部）、多賀城市（多賀城市役所TG会）、塩釜市（塩釜支部）、松島町（松島支部）、東松島市（鳴瀬支部）、石巻市（石巻支部・石巻市役所TG会）、女川町（女川支部）、南三陸町（志津川支部）、気仙沼市（気仙沼支部）

岩手県：大船渡市（気仙支部）、釜石市（釜石支部・釜石市役所TG会）、宮古市（宮古支部・宮古市役所TG会）

以上 18地域（18支部・4TG会）

## 2. 支援対象と内容

## ①文房具の進呈

被災された地域を将来担う青少年（小学生）を対象とします。支援の内容は文房具で、ノート120冊・鉛筆40ダース・消しゴム120個を1セットとして市教育委員会に5セット、町教育委員会に3セットをそれぞれ進呈します。ただし、予算の都合上、全員に行き渡らないかもしれませんが、配分は各教育委員会に委ねます。また、進呈は「目録」で行いますが、進呈日までに文房具が届くようにします。そして、進呈する際は、対象地域の支部長又はTG会長に同席いただく予定です。なお、校友課では前記文房具が充足している教育委員会もあると思いき、関係支部長を通して各教育委員会に状況を尋ねていただきました。その結果、フェルトペン（カラーペン）などの要望が出されたところもありますので、そのようなところには要望通り進呈いたします。加えて、文房具が充足しているところについては、文房具以外で何が支援できる今後調整して参ります。

## ②医療及び法律相談

前述のように、東北学院同窓会には多彩なTG会が組織されています。被災地には既に全国各地からボランティアが集まり人的支援を行っていますが、東北学院同窓会も文房具の進呈と併せ「医療及び法律相談」も行えればと思っています。具体的には、ドクターTG会とデンタルTG会による医療相談（簡易な診察を含む）及び弁護士TG会と行政書士TG会による法律相談などがあります。この人的支援の可能性を前述のTG会関係者に伺いましたところ快く協力いただけることになりましたので、万全を期して準備に入ります。

### 3. 実施時期と回数

#### ①文房具の進呈：8月上旬から8月中旬にかけて1回

新学期に間に合わせるため、8月中旬までに届けます。送付回数は、1回を予定しています。

#### ②医療及び法律相談：8月～11月にかけて2回

ドクターTG会・デンタルTG会・弁護士TG会、行政書士TG会が一体となって支援していただきたいと考えています。そのため、前記のTG会にはスケジュールを調整して実施日を決めていただきますが、その調整は校友課が行います。また、支援回数は2回程度と考えていますが、詳細は関係するTG会と相談して決めたいと思います。

### 4. 予算：200万円

平成23年度東北学院同窓会収支予算の「雑費」に200万円を計上しています。内訳は「文房具の進呈」に150万円、「医療及び法律相談」に50万円を充当します。この「医療及び法律相談」については、交通費と日当を含め一人につき一日（1回）1万円を同窓会が補助する予算です。校友課では1回の「医療及び法律相談」を10名程度と見込んでいますが、人数については柔軟に対応して参ります。なお、50万円の予算に残額が生じた場合は、うがい薬（イソジンガーグル液）や消毒薬（破傷風予防）などを相談者に配付したいと考えています。

### 5. 医療及び法律相談の対象地域：石巻市

この度の東日本大震災の被災状況は甚大なものがありますが、特に石巻市においては死者3,128名、行方不明1,012名、避難者4,471名（いずれも7月7日現在）となっています。このような状況のもと今も多くの市民が避難所生活を強いられておりますので、「医療及び法律相談」の地域を石巻市とします。また、スムーズな支援を行うために、石巻市役所TG会の協力をいただく予定です。また、参考までに現在石巻市からは学生・生徒合わせて約350名が東北学院大学と東北学院高等学校に通学し、うち約150名が被災届を提出しています。なお、東北学院大学災害ボランティアステーションが3月29日（火）に設立され、これまで気仙沼市をはじめ、石巻市、仙台市、多賀城市、名取市、亘理町などへ教職員と学生を派遣し、汚泥除去や子供たちへの絵本読み聞かせなどのボランティア活動に参加しています。

### 6. その他

①宮古支部の千葉胤嗣支部長より携帯コンロ（ガスボンベ付き）56台（7箱）の提供がありました。そのうち16台（2箱）を気仙支部に進呈しましたが、本日出席されている支部又はTG会から送付の希望がありましたらお届けします。地域の方々への支援活動にご利用下さい。送料は東北学院同窓会が負担いたします。

②上記5.に関連して、東北学院大学災害ボランティアステーションは次の関係機関と災害ボランティアネットワークを結び、コーディネート機能を発揮してボランティア活動を展開しています。

#### ◎連携災害ボランティアネットワーク

青山学院大学、明治学院大学、関西学院大学、中央大学、桜美林大学、麗澤大学、名古屋学院大学、立命館大学、山形大学、西南学院大学、仙台市災害ボランティアセンター、宮城県災害ボランティアセンター、NPO法人アスイク